

原発事故から市民を守る 村上前東海村長のお話

市民自治を考える集い

10月18日(土)

午後2時30分開場・3時開始

場所：枚方市民会館第3・4集会室

京阪枚方市駅下車5分

講師：村上達也前東海村長

「脱原発で

住みたいまちをつくる」

参加協力費 500円

村上達也元村長

のプロフィール

*1997年9月から2013年8月まで、茨城県東海村長

*脱原発をめざす首長会議世話人

*1999年JOC臨界事故(2名の作業員が被爆してなくなる)時、国の対応が遅れる中、村独自の判断で住民避難を行う。

*原発に依存しない「住民主権による自主自立の道、人と環境を優先する」村づくりを行う。

福島原発事故は、多くの人の命を奪い、ふるさとや財産を奪いました。

村上さんは、政府や原子力村が事故を受けても政策や体制を変えることのない傲慢さを見て、「この国は原発を持つ資格はない」「金と命は等価交換できない」「犠牲者の上に便利な生活を望んではいけない」「東海第2原発は動かしてはならない、廃炉しかない」と主張されています。また、JOC臨界事故が、「国の政策に黙って従っているだけでは住民の安全を守ることはできない、主体的にものを言っていかなければならないと認識を変えるきっかけになった」と言われています。国の顔色を伺うだけでは、住民の命と生活を守れません。自立した地方自治体を作るためには、自立した市民が不可欠です。

市民が主人公のまちづくりをめざして、村上前村長や参加者で交流したいと思います。

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

枚方市禁野本町1丁目5-15 106 (市民の広場 ひこばえ) 072-849-1545

連絡先 手塚たかひろ (携帯 080-1509-0706) 松田久子 (090-9705-5921)